

# 箸墓古墳(桜井市)

箸墓古墳の傍に立つ案内板



箸墓古墳の近くには景行天皇陵や崇神天皇陵も所在する



これは箸墓古墳を北東側から見たところで、左手前は後円部、右奥が前方部



後円部方向をアップで見たところ



これは北側から見たところ/左手は後円部、右手が前方部/手前に表示板がある/左後方に三輪山が見える



右手の石碑には「大池改修記念碑」とある



大和さくらい

# 大和さくらい 100選



## 箸墓古墳と三輪山の風景

《ビューポイント》



QRコード

和歌山市では、「懐かしさいっぱい 和歌山 大和さくらい」事業を実施し、市内外より多数の応募をいただきました。市民目録で選ばれた100選は、発見できることとおきの「場所」や「もの」です。楽しんで、和歌山、大和さくらいをご堪能ください。

大和は、和のまはらば 和のなつと 和のま 山ごもれる 大和しるるわし。

和歌山 和歌山プロジェクト推進協議会  
連絡先：和歌山県民局 和歌山県民局 和歌山県民局 和歌山県民局 和歌山県民局

正面後円部の後方が三輪山/右手は前方部



右手の前方部を見たところ



さて、これは裏手に回って南西側から前方部を見たところ



道路の先を見ると前方部からくびれ部、後円部と墳丘なりに道路がカーブしている



左手を見たところ/前方部の突端に鳥居が見える



近づいてみる



宮内庁管理のもと、墳丘には立ち入り禁止







参考ホームページ

<http://inoues.net/club/hashibaka.html>

[http://www.bell.jp/pancho/k\\_diary-10/2014\\_03\\_19.htm](http://www.bell.jp/pancho/k_diary-10/2014_03_19.htm)

<http://www.makimukugaku.jp/info/iseki.html>

<http://blog.livedoor.jp/ncc74210/archives/52716848.html>

<http://small-life.com/archives/08/02/1110.php>

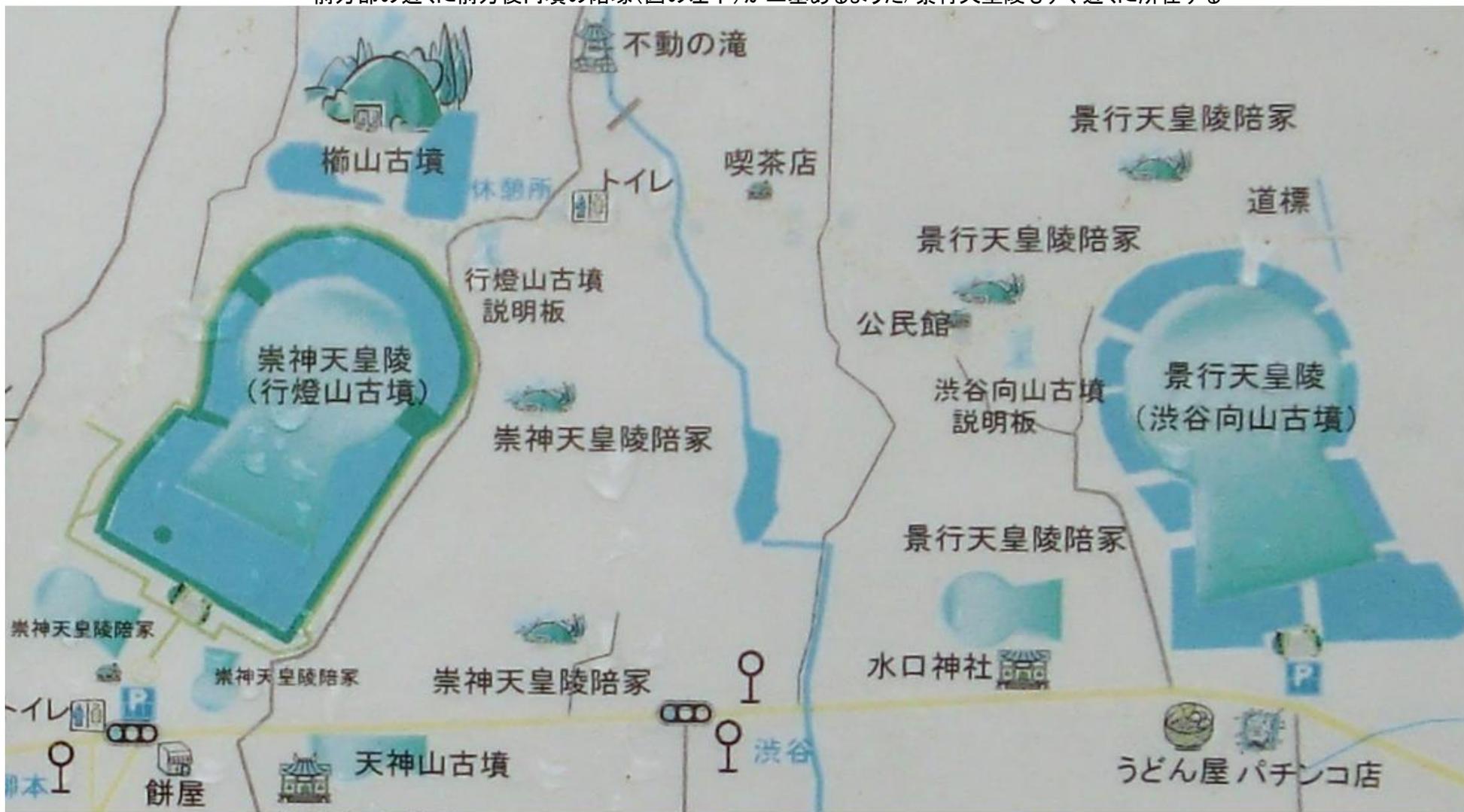


崇神天皇陵/行燈山古墳(天理市)

ここは崇神天皇陵/4世紀前半の築造という

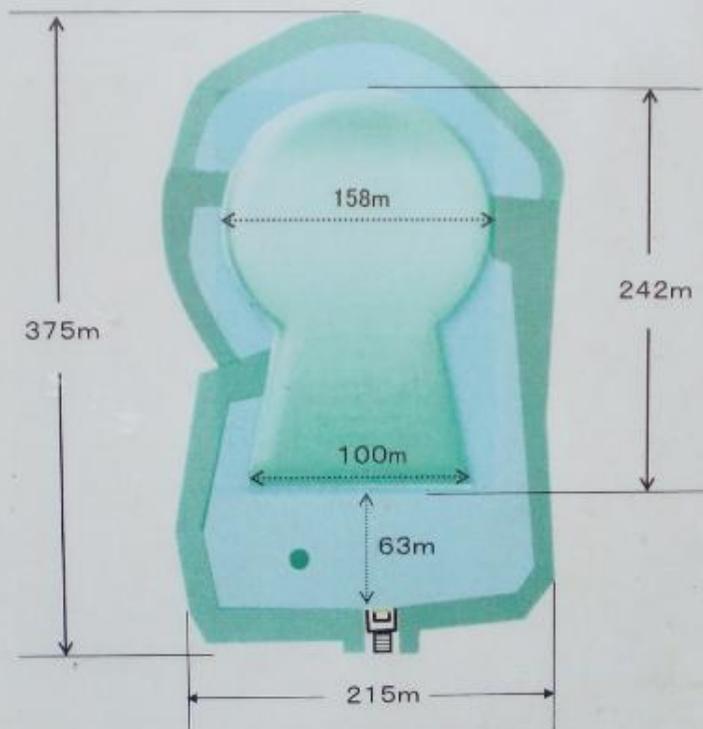


前方部の近くに前方後円墳の陪塚(図の左下)が二基あるようだ/景行天皇陵もすぐ近くに所在する



墳丘の周囲は周濠が巡っている

崇神天皇山辺道勾岡上陵 (行燈山古墳)



第10代崇神天皇は第9代開化天皇の第二子で、母は皇后伊香色謎命(いかがしこめのみこと)と伝えられています。

御陵は前方部を北西に向けた前方後円墳で、大和古墳群のほぼ中央に位置しております。龍王山西麓の緩斜面に築かれたため、東西で高低差が生じており、そのため周濠が合計3ヶ所の渡土堤によって区画されています。

墳丘は後円部・前方部共に3段築成と考えられており、埴輪・土器が出土しています。外周には高く積み上げられた堤が廻りますが、これは江戸時代末に柳本藩が行った、修陵事業によるもので古墳築造当時の姿とは異なっているようです。

正面の木々のエリアが前方部で、手前の高い土手(堤)は江戸時代の改変とのこと



宮内庁管理のもと、墳丘には立ち入り禁止



土手(堤)の上にある鳥居





正面は前方部



左手を見たところ



右手を見たところ



後を振り返って左手を見ると陪塚がある/南アト山古墳(全長60m)/正面が前方部で右奥が後円部



右手にはもう一基の陪塚がある/北アト山古墳(全長120m)/左手が前方部、右手が後円部



景行天皇陵/渋谷向山古墳(天理市)

前方が景行天皇陵/4世紀後半の築造という/北西側から前方部を見たところ



鳥居が見える/正面は西側から見た前方部





宮内庁管理のもと、墳丘には立ち入り禁止





右手を見たところ/周濠が巡る



前方部を南側から見たところ/右手は後円部方向



右手を見たところ/前方部からくびれ部、後円部方向を見たところ/周濠は渡土堤によって区画されている



左手を見たところ

